

旭の輪の中で育む 旭っ子！

福井市旭小学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	2回
地域及び家庭への学校公開	13回

(2) 地域人材の活用（のべ人数）

講師・ゲストティーチャー	45人
授業ボランティア（含：低ボラ）	300人
登下校支援ボランティア	4,000人
その他（読み聞かせ クラブ活動）	120人

(3) 特色ある活動

「保護者や地域住民の協力を得て、豊かな心を育てる」



本校は以前より、保護者・地域の方々に講師やボランティアとしてご協力いただいているが、近年は特に、「地域の子どもを育てる」という意識で、児童の活動に対して積極的で熱心な支援を得ている。

4年生が福祉活動の一つとして実施しているボランティア教室では、地区社協が主催し、PTAや地区交通安全協会が協力し、児童は多くの保護者に見守られながら体育館で車椅子バスケットをしたり、駅東大通りを車椅子で歩く体験をしたりした。



また、平成元年度から始まった「荒川水質調査」は、主催者の青少年育成会・公民館やPTA・交通安全推進協議会等との連携が積み重ねられて本年度で23回目を迎え、環境を守る活動につながっている。このように、地域の団体が支えている活動を継続的に行い、子どもたちを育もうとする体制が整っている。



児童の安全確保にも保護者・地域の方々の協力をいただいている。6月8日には、PTAが中心になり1・2年生対象に交通安全教室を実施し、歩行訓練と自転車の点検・走行訓練を行った。クラブ活動では、保護者・地域ボランティアの方々が指導に訪れ、子どもたちは専門的な指導を受けながら充実した活動を行っている。

また、朝の読み聞かせボランティアの活動（1～6年）も子どもたちは楽しみにしている。今年は月曜日と金曜日に3～4人の保護者が各教室を訪れ、実施していただいた。その他、祖父母ボランティアを招いての昔遊び教室、下校見守り隊（75名）の方々に毎日見守られるなど、児童は地域の方々とふれあひながら多くのことを学び、心豊かに成長している。

成果と課題 保護者や地域の人たちの協力を得て、学校だけではできない貴重な体験を子どもたちは行っている。この体験等を通して、子どもたちに優しい気持ちが育まれているように感じる。学校評価委員会における的確な評価と指導助言をいただきながら、今後、各機関との連携をより一層強め、地域と保護者と学校がお互いを理解しながら関わりを深め、今後とも学校教育やコミュニティを中心にして子どもたちの豊かな心を育てていきたい。

